

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	1	安心・安全な環境の確立
施 策	①	防災・減災対策の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	「地域防災マスター」の人数【累計】		目標値	人					10	10
				実績値	人	7	6				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	70.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	2	10	20	評 価		b	b				
	2	自主防災組織の数【累計】		目標値	組織					30	30
				実績値	組織	20	21				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	70.0	0.0	0.0	0.0
		18	30	38	評 価		c	c			
成果 指標	1	(ア)町民の防災対策への満足度		目標値	%					50	50
				実績値	%	—	—	—	—		0
		現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	0.0	0.0
		35.6	50	70	評 価						
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活－1	R3新規登録なし		新規登録1名増 地域防災マスター認定者の 町外転出2名減								
活－2	令和2年度2団体 令和3年度は結成なし		新規結成1団体								
成－1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	---

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 公共施設などに非常用電源を確保する				R4(2022)年度実績額 11,825千円
細事業名Ⅰ	可搬型発電機等維持管理事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ	電気自動車、充給電設備導入事業	実	4-3-①-43	担当課	総務課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度 実施内容	(Ⅰ)役場庁舎や一部の避難所に備蓄している可搬型発電機の点検・修繕や燃料の入替を実施した。 (Ⅱ)災害時に非常用電源として活用できる電気自動車を購入し、第一次避難所であるコミュニティセンターに給電できるよう充給電設備の設置工事を実施した。また、電気自動車の電力を取り出し、他の避難所等施設に持ち運べる給電器を購入した。				
進捗状況と課題	現状は主に可搬型の発電機により電源を確保しているが、災害対策本部としての機能を十分に果たすためには発電量が不足しており、燃料の備蓄にも課題がある。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 複数の情報伝達手段を確保する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	災害時の情報伝達手段として、防災行政無線、緊急速報メール、町ホームページにおける緊急情報を中心に運用している。				
進捗状況と課題	現状の方法に加え、SNSを活用した情報伝達手段の構築が必要となっている。防災行政無線の更新時にこれらの機能を利用した体制整備を検討する。【企画防災係】				

主な事業・取組	3. 災害備蓄品を充実させ、実践的な訓練を行う			R4(2022)年度実績額	1,304千円
細事業名Ⅰ	災害用備蓄品・資機材購入事業	実	4-1-①-1	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	防災訓練実施事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)地震・津波による町内の被害想定が示されたことから災害時備蓄計画を改訂し、備蓄目標数量の見直しを図った。また、災害時備蓄計画に基づき、食料、飲料水、資機材等の災害非常用備蓄品を購入した。 (Ⅱ)4年に1度の大規模な総合防災訓練を実施し、例年実施している避難訓練に加え、関係機関による救出訓練や炊き出し訓練を実施した。また、広尾高校と連携した避難所設置・運営訓練を実施し、地域住民、高校生の防災意識を向上させることができた。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)食糧や資機材保管場所が手狭になってきており、防災資機材の保管場所について検討する必要がある。【企画防災係】 (Ⅱ)今後も地域住民と連携した実践的な訓練となるよう、内容を工夫しながら実施していく。【企画防災係】				

主な事業・取組	4. 防災リーダーを育成し、共助の力を高める			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	防災リーダー育成事業	実	4-1-①-2	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	防災訓練実施事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)北海道が実施する「地域防災マスター認定研修会」に1名の町民が参加し、地域防災マスターの認定を得た。 (Ⅱ)令和3年度から実施している広尾高校と連携した「避難所設置・運営訓練」を実施し、参加した高校生や住民の防災意識を向上させることができた。				
進捗状況と課題	今後も町内会を通じて研修会への参加を募り、「地域防災マスター」の育成に努める。また、小中学校、高校における防災教育を充実させ、将来、防災リーダーとなる人材の育成に努める。【企画防災係】				

主な事業・取組	5. 音調津地区の緊急避難場所に避難施設を設置する			R4(2022)年度実績額	597千円
細事業名Ⅰ	音調津避難施設維持管理事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ	音調津避難施設簡易無線機・戸別受信機アンテナ設置事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ	音調津避難施設除雪注意看板設置事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅳ	音調津地区避難路支障木伐採事業	実		担当課	企画課
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)避難所としての機能が維持されるよう設備の点検管理を行った。 (Ⅱ)災害時に災害対策本部との通信や災害時の情報が入手できるよう簡易デジタル無線機及び戸別無線機用アンテナを設置した。 (Ⅲ)安全かつ円滑に除雪が行われるよう浸透枳の位置を示す看板を施設に設置した。 (Ⅳ)施設までの避難路において、地震の影響により倒木の恐れがある支障木伐採工事を実施した。				
進捗状況と課題	当該施設までの道路幅員が狭あいであるため、日本海溝・千島海溝沿い巨大地震に係る特別措置法による嵩上げ交付金を活用し、今後避難路拡幅工事等にかかる事業計画を策定する予定。また、施設に避難できない柳通地区住民の避難施設について要望が寄せられており、対応について検討する必要がある。【企画防災係】				

<継続的事業>					
主な事業・取組	1. 自主防災組織の設立を推進する			R4(2022)年度実績額	98千円
細事業名Ⅰ	自主防災組織育成交付金事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和4年度に1団体が新規結成された。また、1団体が防災訓練を実施した。 令和5年3月時点での結成状況は、21町内会・組織率56.5%。				
進捗状況と課題	令和5年度の結成に向けて、いくつかの町内会で動きがある状況。沿岸地区以外の町内会（特に農村地区）の結成が進んでいないことから、結成支援の取組を進める必要がある。【企画防災係】				
主な事業・取組	2. 災害時要援護者の救援体制を確立する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	災害時に要支援者が迅速に避難できる体制を整えることが重要であるため、令和5年度より福祉部局、防災部局、社会福祉協議会等が連携し、避難行動要支援者の個別避難計画策定に向け取り組む予定である。【企画防災係】				
主な事業・取組	3. 各種防災マップを改訂する			R4(2022)年度実績額	3,864千円
細事業名Ⅰ	防災マップ改訂事業	実	4-1-①-4	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	WEB版防災ハザードマップ作成事業	実	4-1-①-49	担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)新たに指定された津波災害警戒区域等や変更後の避難場所を反映させた「津波ハザードマップ」及び「津波防災ガイドブック」を作成し、各家庭や沿岸部事業所に配布を行った。 (Ⅱ)パソコンやスマートフォン等から避難場所や災害危険箇所を確認できる「Web版ハザードマップ」を公開した。				
進捗状況と課題	今後も必要に応じ、ハザードマップを改訂する。また、各家庭においてハザードマップが活用されるよう定期的に周知を図る。【企画防災係】				
主な事業・取組	4. 個人備蓄の啓発を行う			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	今年度作成した『津波防災ガイドブック』内に個人備蓄に関する記事を掲載し、全戸配布を行った。				
進捗状況と課題	今後も広報誌等を通じ、個人備蓄の啓発行い、自助・共助・公助が機能するよう取り組む。【企画防災係】				
主な事業・取組	5. 事業所などとの多様な災害協定の締結を進める			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	佐川急便株式会社と「災害時における支援物資の受入及び配送」に関する災害協定を締結した。				
進捗状況と課題	災害対応及び復旧活動が円滑に進むよう、今後も様々な分野において災害協定の締結を進める。【企画防災係】				

主な事業・取組	6. 町内会等と定期的に防災に関する懇談会を開催する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 企画課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	津波ハザードマップ作成にあたり、沿岸部の町内会及び事業所向けのワークショップを開催し、津波防災に係る意見聴取を行った。また、毎年実施している町政懇談会で、防災を含む意見交換を行った。		
進捗状況と課題	自主防災会を束ねる連合会組織の設立について、今後検討する必要がある。【企画防災係】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）		記載者	企画課長 山岸
○	A 想定以上に進んでいる	評価理由	施策目標が成果目標の実績数値には表れていないが、訓練などを通じ小学生から高校生までの防災教育や自主防災組織の育成、啓発活動などを着実に進めている。
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）		記載者	企画課長 山岸
○	A 有効であった	評価理由	小学校から町内会まで、幅広い年齢層を対象とした訓練を実施するなど、継続して行うことで効果が期待できる事業が盛り込まれている。
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
対 防 4 策 災 ・ の ・ 1 充 減 ・ 実 災 1	一次評価（担当課の評価）				
	B	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	B	B			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
付 帯 意 見	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	1	安心・安全な環境の確立
施 策	②	消防・救急体制の確立

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1 救急講習の受講率【累計】	目標値			%					50	50
		実績値			%	43	51				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	86.0	102.0	0.0	0.0	0.0
		37	50	60	評 価		b	a			
	2-1 消防団員の充足率(定数160人) 本部(定数25人)	目標値			%					100	100
		実績値			%	60	68				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	60.0	68.0	0.0	0.0	0.0
		72	100	100	評 価		c	c			
	2-2 消防団員の充足率(定数160人) 広尾分団(定数65人)	目標値			%					100	100
		実績値			%	80	65				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	80.0	65.0	0.0	0.0	0.0
		83	100	100	評 価		c	c			
	2-3 消防団員の充足率(定数160人) 野塚分団(定数25人)	目標値			%					100	100
		実績値			%	64	64				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	64.0	64.0	0.0	0.0	0.0
		76	100	100	評 価		c	c			
	2-4 消防団員の充足率(定数160人) 豊似分団(定数25人)	目標値			%					100	100
		実績値			%	92	72				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	92.0	72.0	0.0	0.0	0.0
		92	100	100	評 価		c	c			
	2-5 消防団員の充足率(定数160人) 音調津分団(定数20人)	目標値			%					100	100
		実績値			%	65	65				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	65.0	65.0	0.0	0.0	0.0
		65	100	100	評 価		c	c			
成果 指標	1 年間火災発生数【単年】	目標値			件					0	0
		実績値			件	4	1				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—
		5	0	0	評 価		c	b			
	2 住宅用火災警報器の普及率	目標値			%					100	100
		実績値			%	76.9	76				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	76.9	76.0	0.0	0.0	0.0
		78	100	100	評 価		c	c			
特記事項	R3 (2021)			R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1	10回 133人			7回 145人							
活－2－1	18人→15人 3人減			15人→17人 2人増							
活－2－2	54人→52人 2人減			52人→42人 10人減							
活－2－3	19人→16人 3人減			16人→ 16人 増減なし							
活－2－4	23人→23人 増減なし			23人→18人 5人減							
活－2－5	13人→13人 増減なし			13人→13人 増減なし							
成－1	火災発生件数 1件減			火災発生件数 3件減							
成－2	住警器設置調査			住警器設置調査							

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 関係機関・民間の防火組織・企業・住民が連携して、さらなる防火意識の向上を図る	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	広尾消防署
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	春・秋の火災予防運動期間にポスター掲示を事業所に依頼し、防火意識の向上に努めた。また、幼年消防クラブや少年消防クラブの活動を通じて、幼少期からの防火意識の向上に取り組んだ。		
進捗状況と課題	引き続き、幼年・少年消防クラブの活動を通じた防火意識向上のための活動を継続する。また住民に対する防火意識の向上を目指した広報活動(水消火器取扱い訓練や住警器の設置広報)を実施する。【広尾消防署】		

主な事業・取組	2. 消防団員を確保する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	総務課(消防)
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	新型コロナウイルス感染拡大により、企業等への訪問など入団促進活動はできなかったが、各事業所にポスターの掲示依頼や在籍団員個々による消防団への理解促進及び入団の呼びかけを行った。		
進捗状況と課題	町内企業への消防団活動のPRを行い、新規入団の働きかけと事業所へ協力依頼を実施する。消防団活動の理解を深め、消防団活動を継続しやすい環境づくりにも取り組む必要がある。【総務課(消防)】		

主な事業・取組	3. 医療機関と連携した救急医療体制の向上を図る	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	広尾消防署
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	・消防広域化のスケールメリットを生かし、迅速な消防、救急体制が確保された。 ・地域医療機関のみならず、十勝管内の医療機関とも連携し、受入体制が確保された。		
進捗状況と課題	町内医療機関との連携を図り、迅速な受入体制、確実な救急体制を確保できるよう引き続き確認、連携に取り組む。【広尾消防署】		

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 車両や設備、施設などを計画的に更新する	R4(2022)年度実績額	121,693千円
細事業名Ⅰ	老朽化防火水槽更新事業	実 4-1-②-7	担当課 総務課(消防)
細事業名Ⅱ	常備消防車両更新事業	実 4-1-②-8	担当課 広尾消防署
細事業名Ⅲ	高機能消防指令システム・消防救急デジタル無線機器更新事業	実 4-1-②-10	担当課 広尾消防署
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)老朽化した防火水槽の更新及び撤去に係る調査設計を実施した。 (Ⅱ)常備消防車両を更新し、機能強化と管理経費の低減が図られた。 (Ⅲ)高機能指令システム及び無線機器の更新により機能強化が図られた。		
進捗状況と課題	引き続き、老朽化施設や車両、設備を計画的に更新し、機能・体制維持を確保する。【広尾消防署】		

主な事業・取組	2. 救急車の適正利用について、広報紙や町公式ウェブサイトなどにより広く啓発する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 広尾消防署
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	ポスターの掲示と救急講習会で適正利用に関する説明を実施した。		
進捗状況と課題	町民全体に周知できるよう、広報誌等への掲載、講習会等の機会を通じ説明するなど、引き続き実施する。【広尾消防署】		

主な事業・取組	3. 救命率向上に向けた、救命講習会を実施する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 広尾消防署
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	町民、事業所を対象に全7回開催し、145人が受講した。また、中学生や高校生に対する講習会も開催した。【広尾消防署】		
進捗状況と課題	多くの町民に受講していただくよう引き続き広報するとともに、講習を修了した町民へ継続的な受講ができる体制づくりに取り組む必要がある。【広尾消防署】		

主な事業・取組	4. 春秋の火災予防期間に合わせた職団員合同防火訪問、女性消防団員による独居老人宅訪問時に火災予防の啓発を行い、火災予防・災害時対応の理解を深める	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 広尾消防署
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	職団員の防火訪問及び女性消防団員による独居老人宅への訪問を実施。啓蒙品を手渡すことで、個別に防災へ取り組みを伝えることができた。		
進捗状況と課題	新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら引き続き事業を実施し、防火意識の向上を目指す。【広尾消防署】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	消防主幹 木村
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、講習会、説明会など事業を中止または縮小したことにより、事業展開が思うようにできなかった。町民への防火意識の向上、救命率向上、消防団員の確保への取組を引き続き積極的に進める。	
	B 想定どおりに進んでいる			
○	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	消防主幹 木村
	A 有効であった	評価理由	コロナ禍で事業規模の縮小、時間短縮する中でも、救命講習会や防火訪問など工夫しながら取り組むことで、住民への意識向上が図られた。引き続き課題等を踏まえ、事業展開できるよう取り組む必要がある。	
○	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

体 消 4 制 防 ・ の ・ 1 確 救 ・ 立 急 2	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	1	安心・安全な環境の確立
施 策	③	交通安全・防犯対策の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	出前講座等による免許返納の啓発回数【単年】	目標値	回						2	2
			実績値	回	0	0				0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	2	3	評 価		c	c				
成果 指標	1	高齢者の免許返納件数【単年】	目標値	件						25	25
			実績値	件	23	22				0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	92.0	88.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20	25	30	評 価		b	b				
	2	町内の死亡交通事故発生件数【単年】	目標値	件						0	0
			実績値	件	1	0				0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	—	—	—	—	—	—
	1	0	0	評 価		c	a				
	3	町内の犯罪発生件数【単年】	目標値	件						15	15
			実績値	件	12	13				0	
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	80.0	86.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
24	15	0	評 価		a	a					
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1											
成－1		70代5件、80代17件、90代1件		60代3件、70代6件、80代12件、90代1件							
成－2											
成－3											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	---

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>				
主な事業・取組	1. 高齢者ドライバーを保護する			R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課 住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	「交通事故死ストップ十勝百日作戦」に併せて、町広報で高齢者マークの表示、高齢者運転者の安全運転の啓発を行った。			
進捗状況と課題	高齢者ドライバーに交通安全を意識してもらうよう、引き続き啓発を行う。【環境生活係】			

主な事業・取組	2. デイライト運動の定着を図る	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	住民課
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	交通安全キャンペーン等でデイライト運動について呼びかけを行った。		
進捗状況と課題	デイライト運動が町民に認識されるよう、継続して行っていく。【環境生活係】		

主な事業・取組	3. 高齢者が集まる場で防犯意識の高揚を図る	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	住民課
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	「ひろおすまいる元気塾」にて、警察が交通・防犯講話を実施し、特殊詐欺被害防止について啓発を行った。		
進捗状況と課題	社会福祉協議会や警察などと連携を図り、啓発を行っていく。【環境生活係】		

主な事業・取組	4. 地域における見守り、支え合い運動を展開する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	住民課
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	地域安全推進協議会において、各町内会が行っている地域安全運動に対し奨励金(1町内会5,000円)の交付を行い、地域住民の犯罪への目配り、犯罪抑止を図った。		
進捗状況と課題	地域安全推進協議会や各町内会と連携し、地域の見守り、支え合いの充実を図る。【環境生活係】		

<継続的事业>			
主な事業・取組	1. 交通安全設備などの整備を推進する	R4(2022)年度実績額	132千円
細事業名Ⅰ	交通安全施設改修工事	実	担当課 住民課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	通学路を優先的に路面標示(止まれ)を町内8箇所に設置。		
進捗状況と課題	事故の発生が多い箇所を警察などと情報を共有し、適切に設置する。【環境生活係】		

主な事業・取組	2. 幼児から交通安全思想の高揚を図るとともに、高齢者ドライバーに対して冬道の安全運転技術をテーマとした講習会を開催する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	住民課
細事業名Ⅱ	実	担当課	
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	ひろお保育園こぐまクラブで交通安全教室を実施した。また、「ひろおすまいる元気塾」にて、警察が交通・防犯講話を実施し、交通安全について啓発を行なった。		
進捗状況と課題	保育園や警察などと連携を図り、啓発を行っていく。【環境生活係】		

主な事業・取組	3. 自主防犯意識の高揚を図る	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	歳末地域安全防犯パトロールを実施して自主防犯意識の高揚を図った。また、役場庁舎内の掲示板へ警察が情報提供している防犯情報に関するポスター等の設置及び防災無線で町民へ周知を行なった。		
進捗状況と課題	住民に防犯意識向上のため、引き続き啓発活動を行う。【環境生活係】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）		記載者	住民課長 楠本
○	A 想定以上に進んでいる	評価理由	前年度と比較して運転経歴証明書交付手数料助成申請数が1件減、刑法犯認知件数が1件増となっているが、死亡事故の発生が0件だったため一定の効果があったと思われる。
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）		記載者	住民課長 楠本
○	A 有効であった	評価理由	交通安全キャンペーン等を通じて交通安全・防犯意識の向上が感じられる。今後も警察など関係機関と協力して啓発活動に取り組む。
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

交通 安全 の全 推 進 防 犯	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	B			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	1	安心・安全な環境の確立
施 策	④	安心で便利な買い物環境の整備

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	「宅配便利帳」のPR回数 【単年】		目標値	回					12	12
				実績値	回	2	1				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	— 12 12		評 価		C	C					
	2	買い物支援サービスの構築(再掲)		目標値	—					着手済・試行中	着手済・試行中
				実績値	—	未構築	未構築				0
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	—			
— 着手済・試行中 着手済・試行中		評 価		C	C						
成果 指標	1	(ア)買い物の便利さに対する満足度		目標値	%					25	25
				実績値	%	—	—	—	—		0
	現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	0.0	0.0	
	19 25 50		評 価								
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1		町広報5月号、社協だより									
活－2		高齢者外出支援交通費助成事業の試験実施									
成－1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 買い物の足の確保を支援する			R4(2022)年度実績額	21,083千円
細事業名Ⅰ	高齢者外出支援交通費助成事業	実	4-1-④-50	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	十勝地域公共交通活性化協議会分担金	実	—	担当課	企画課
細事業名Ⅲ	生活交通路線バス確保対策事業	実	4-2-①-19	担当課	企画課
R4(2022)年度 実施内容	(Ⅰ) 令和5年度本格事業実施に向け、3か月間の実証事業を実施。75歳以上の高齢者を対象に申請者に対し、バス・タクシーで利用できる助成券を配布。また利用者、未利用者に対しアンケート調査を実施。 (Ⅱ) 管内市町村や交通・商業・観光関連団体で組織された十勝地域公共交通活性化協議会に参画し、地域公共交通の現状把握や利用促進に関する調査を実施した。 (Ⅲ) 広尾線の沿線市町村で組織する協議会において、乗客や沿線住民アンケート調査を実施し広尾線の利用実態や利用ニーズを踏まえた運行の効率化について協議を行った。				
進捗状況と課題	(Ⅰ) 令和4年度は運転免許所持の要件を撤廃し、75歳以上の高齢者を対象に3か月間実証事業を実施し、事業として有効と判断したため令和5年度から通年で本格事業実施。【福祉係】 (Ⅱ)、(Ⅲ) 沿線自治体協議会による協議の結果、十勝バス広尾線は2便減便を決定し、8月開始に向けて準備を進めている。地域内循環交通については、前期の期間内に町民を巻き込んだ検討組織を立ち上げ、持続可能な地域内公共交通のあり方を模索する予定である。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 買い物便利事業(買い物支援サービス)の実施を検討する			R4(2022)年度実績額	8,197千円
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、買い物の利便性を高める取組を行っている。				
進捗状況と課題	買い物弱者への支援は商工業や経済的観点からも必要と思われ、町から商工会への財政的支援は継続的に行っていく。【商工観光係】				

主な事業・取組	3. 「宅配便利帳」の更なるPRに努める			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	生活支援体制整備事業(地域支援事業)	実	②-①-23	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	広報に掲載し活用促進を図った。				
進捗状況と課題	活用について社協によりて周知を図った。全戸配布としているため、高齢者のみならず妊婦や小さなお子さんがいる家庭など買い物に出づらい方への活用促進のために広報等で周知し、さらなる利用促進を行う【在宅支援係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 消費者が不正な勧誘商法や悪徳商法の被害に遭わないよう、啓発活動を展開する			R4(2022)年度実績額	195千円
細事業名Ⅰ	消費者行政推進事業	実	—	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	啓発リーフレットを役場窓口に設置し、さらに地元高校生向けに配布することで未然の対策を取った。				
進捗状況と課題	リーフレット配布などの啓発を行っており、相談件数も少ない状況である。【商工観光係】				

主な事業・取組	2. 消費生活に関する相談窓口を整える			R4(2022)年度実績額	195千円
細事業名Ⅰ	消費者行政推進事業	実	—	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	消費者保護の観点から、町民からの消費生活相談に対する窓口は商工観光係が担っている。				
進捗状況と課題	商工観光係が消費相談の窓口となり、町民の相談事例に対して適宜対応している。【商工観光係】				

主な事業・取組	3. 警察や消費者センターなどとの連携を強化し、悪徳商法などの被害未然防止に向けた体制を整える			R4(2022)年度実績額	195千円
細事業名Ⅰ	消費者行政推進事業	実	—	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	商工観光係が窓口となり関係団体と連携している。警察等の情報により防災無線を活用した詐欺被害への啓発を行った。				
進捗状況と課題	消費者保護の観点から、消費者行政の窓口である商工観光係が関係団体との連携を取っている。【商工観光係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
商 福企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・商工振興補助事業や消費者行政は一定程度の成果がある。（水産商工観光課長） ・高齢者外出支援交通費助成事業について、令和4年度から本格事業実施予定であったが、利用者が少なかったため令和4年度に2回目の実証事業実施、令和5年度に本格事業実施という点で、予定よりは遅れた。（保健福祉課長） ・十勝バス広尾線は令和4年度に減便・ダイヤ改正にかかる協議を行い、令和5年8月から2便減便となる。今後は利便性の向上、利活用の促進について沿線自治体で協議を進めていく必要がある。（企画課長補佐）		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
商福 企	A 有効であった	評価理由	・商工振興補助事業や消費者行政は一定程度の有効性がある。（水産商工観光課長） ・検討委員会で事業内容について検討を重ね、令和4年度の実証事業を経て、事業として有効と判断したため令和5年度から本格事業実施。（保健福祉課長） ・高齢化の進行とともに買い物利便性向上のニーズは高まっているが、公共交通の面では、現時点において現状把握やニーズ把握に留まり、利便性向上につながる取組には至っていない。（企画課長補佐）		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

買い安 心で 環境 の利 便な 整備	4 ・ 1 ・ 4	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		C	C			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		C	C			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	2	便利で快適な生活の確保
施 策	①	道路整備・公共交通の確保

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	除排雪作業の情報発信回数【単年】		目標値	回					3	3
				実績値	回	3	3			0	
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	1	3	3	評 価		a	a				
	2	地域交通体制検討組織の設立数【累計】		目標値	組織					1	1
				実績値	組織	0	0			0	
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
－		1	1	評 価		c	c				
成果 指標	1	除排雪作業への苦情件数【単年】		目標値	件					15	15
				実績値	件	20	17			0	
	現状(H30) ※過年度平均		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	－	－	－	－	－
	30		15	15	評 価		b	b			
	2	(ア)地域公共交通への満足度		目標値	%					45	45
				実績値	%	－	－	－	－	0	
	現状(H30)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	－	－	－	0.0	0.0
31.1		45	60	評 価							
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1		広報掲載 3回		広報掲載 3回							
活－2											
成－1				除排雪苦情 17件							
成－2											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>					
主な事業・取組	1. 除雪に対する町民の理解を深める				R4(2022)年度実績額 74,150千円
細事業名Ⅰ	除雪事業	実	4-2-①-17	担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度 実施内容	広報及び公式ウェブサイト除雪作業時の協力及び指定雪堆積場等を掲載し、除雪に対する理解を深めた。				
進捗状況と課題	引き続き、広報及び公式ウェブサイトによる情報発信を継続していく。【車両係】				

主な事業・取組	2. 道路の補修、整備を計画的に進める			R4(2022)年度実績額	73,759千円
細事業名Ⅰ	広尾市街地歩道補修事業	実	4-2-①-12	担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ	町道維持補修事業	実		担当課	建設水道課
細事業名Ⅲ	町道整備事業(前期分)	実	4-2-①-13	担当課	建設水道課
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ・Ⅱ)市街地等の道路維持補修により、円滑な交通確保を図った。 (Ⅲ)道路工事調査設計委託(錦通北2丁目第3号幹線道路調査設計委託 外1路線)、道路舗装工事(並木通東2丁目第2号幹線道路改良舗装工事 外2路線)				
進捗状況と課題	通常パトロールなどを行い現状を把握しながら実施する。【土木係】				

主な事業・取組	3. 公共交通を抜本的に改革する			R4(2022)年度実績額	500千円
細事業名Ⅰ	地域公共交通会議開催事業	実	4-2-①-18	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	十勝地域公共交通活性化協議会分担金	実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)地域会議の設置なし (Ⅱ)管内の自治体、関係機関で組織する「十勝地域公共交通活性化協議会」において交通実態調査等を行い、今後の地域公共交通のあり方を検討した。				
進捗状況と課題	「十勝地域公共交通活性化協議会」において令和5年度に衛生環境の維持確保、新たな交通商品の造成を行い、管内の公共交通の利便性を高めることで地域内外の交流人口の拡大を図る。また、「地域公共交通計画推進協議会」において策定を進めていた十勝広域での地域公共交通計画は令和5年6月に完成し、今後は沿線ごとの検討部会を主体に取組の検討を行っていく。【企画防災係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 道路の補修、整備を計画的に進める			R4(2022)年度実績額	73,759千円
細事業名Ⅰ	広尾市街地歩道補修事業	実	4-2-①-12	担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ	町道維持補修事業	実		担当課	建設水道課
細事業名Ⅲ	町道整備事業	実	4-2-①-13	担当課	建設水道課
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ・Ⅱ)市街地等の道路維持補修により、円滑な交通確保を図った。 (Ⅲ)道路工事調査設計委託(錦通北2丁目第3号幹線道路調査設計委託 外1路線)、道路舗装工事(並木通東2丁目第2号幹線道路改良舗装工事 外2路線)				
進捗状況と課題	通常パトロールなどを行い現状を把握しながら実施する。【土木係】				

主な事業・取組	2. 街路灯の新設、修繕等の維持管理を実施する			R4(2022)年度実績額	5,860千円
細事業名Ⅰ	街路灯維持管理事業	実		担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ	街路灯新設事業	実		担当課	建設水道課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	・歩行者、通行車両の安全確保と快適な生活環境づくりに努めることができた。 ・一般修繕122灯・新規設置3灯				
進捗状況と課題	町内会要望やパトロールに基づき実施する。【土木係】				

主な事業・取組	3. 道路構造物の定期点検、長寿命化計画に基づいた修繕を進める			R4(2022)年度実績額		68,959千円
細事業名Ⅰ	橋りょう長寿命化事業	実	4-2-①-15	担当課	建設水道課	
細事業名Ⅱ	トンネル長寿命化事業	実	4-2-①-16	担当課	建設水道課	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	・橋りょう、トンネル・シェッドの適切な点検を行うことにより、将来にわたり安全・安全な道路網の確保を図った。 ・橋りょう点検業務(93箇所)、トンネル・シェッド点検委託業務(トンネル2箇所、シェッド7箇所)、トンネル・シェッド長寿命化修繕計画策定委託業務(トンネル2箇所、シェッド7箇所)					
進捗状況と課題	通常パトロールや橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、継続して事業を実施する。【土木係】					

主な事業・取組	4. 事業者と連携し、十勝バス広尾線利用促進PRを進める			R4(2022)年度実績額		18,854千円
細事業名Ⅰ	生活交通路線バス確保対策事業(広尾線)	実	4-2-①-19	担当課	企画課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	十勝バス広尾線沿線自治体及び関係機関で組織する「広尾線バス輸送確保対策協議会」において、バス利用促進に関する協議を行っている。また、広尾町の取組として令和5年の広報4月号に公共交通の利用促進にかかる記事を掲載し、併せてバスの時刻表等の情報を掲載したチラシを折り込んだ。					
進捗状況と課題	広尾線の沿線市町村で組織する協議会において、乗客や沿線住民アンケート調査を実施し広尾線の利用実態や利用ニーズを踏まえた運行の効率化について協議を行い、令和5年8月からの2便減便を決定した。今後は利便性の向上、利活用の促進について沿線自治体で協議を進めていく必要がある。【企画防災係】					

主な事業・取組	5. 十勝バス広尾線沿線市町村や事業者等とバス利用促進について協議を進める			R4(2022)年度実績額		18,854千円
細事業名Ⅰ	生活交通路線バス確保対策事業(広尾線)	実	4-2-①-19	担当課	企画課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	十勝バス広尾線沿線自治体及び関係機関で組織する「広尾線バス輸送確保対策協議会」において、バス利用促進に関する協議を行っている。また、広尾町の取組として令和5年の広報4月号に公共交通の利用促進にかかる記事を掲載し、併せてバスの時刻表等の情報を掲載したチラシを折り込んだ。					
進捗状況と課題	広尾線の沿線市町村で組織する協議会において、乗客や沿線住民アンケート調査を実施し広尾線の利用実態や利用ニーズを踏まえた運行の効率化について協議を行い、令和5年8月からの2便減便を決定した。今後は利便性の向上、利活用の促進について沿線自治体で協議を進めていく必要がある。【企画防災係】					

主な事業・取組	6. 高速ひろおサタ号の継続運行に向け、利用促進を図る			R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	ジェイアール北海道バス(株)が札幌・広尾間で毎日1便運行している「高速ひろおサタ号」の乗客数は前年に比べて1.7倍増加の4,613人となったが、コロナ前の約7割にとどまっている。【企画防災係】					
進捗状況と課題	新型コロナの5類への移行に伴い、人の動きも戻ってきたが、乗客数が以前の水準に戻るかは不透明な面もある。現状の乗客数では採算ラインを下回っており、乗務員不足も相まって運行廃止の提案も想定されるため、運行会社と連携して利用促進に努める必要がある。【企画防災係】					

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・現状確認をしながら、計画どおり進んでいる。（建設水道課長補佐） ・十勝バス広尾線に関しては、将来的に持続可能な公共交通の確保をめざし、令和5年8月からの減便を決定した。JRバスが運行する高速ひろおサンタ号も便の維持に向け、利用客増に向けた取組を進めていく必要がある。（企画課長補佐）		
建企	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
	A 有効であった	評価理由	・町内会要望や日常パトロールを行い、歩行者や車両の安全確保と快適な生活環境を提供することができた。（建設水道課長補佐） ・減便の実施に併せて今後は利便性の向上、利活用の促進について沿線自治体で協議を進めていく必要がある。（企画課長補佐）		
建企	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

公共道路・交通整備の確保	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	B			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	---

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

＜R4施策評価点検による政策等プロジェクト委員会の評価変更理由＞
町道や橋りょう等の維持管理については、予算の範囲内で修繕等を行い、安心・安全の確保に努めている。公共交通の確保については、コロナ禍の影響で低迷していた乗客数も少しずつ戻ってきており、懸案であった十勝バスの運行効率化は沿線で組織する協議会で令和5年度からの2便減を決定し、取組が前進している。活動指標の達成状況や担当課における評価等も踏まえ総合的に判断した結果、評価を「B」評価とする。

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	2	便利で快適な生活の確保
施 策	②	居住環境の整備

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	空き家活用・解体への助 言、提案件数【単年】		目標値	件					10	10
				実績値	件	20	14			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	200.0	140.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10	10	10	評 価		a	a				
成果 指標	1	(ア)居住環境の満足度		目標値	%					60	60
				実績値	%	—	—	—	—		0
	現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	0.0	0.0	
	53.4	60	60	評 価							
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1											
成－1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞				
主な事業・取組	1. 空き家情報の充実に努める			R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ	空き家バンク事業	実	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度 実施内容	平成28年度から制度を開始しているが、令和4年度末で掲載物件は1件のみという状況にある。固定資産税納付書発送の際に制度の紹介チラシを同封し、PRを図っている。			
進捗状況と課題	チラシ発送後は問い合わせも多くあるが、実際に登録まで結びつかない状況にある。登録のための書類作成が煩雑との声もあり、登録の簡素化等も検討していく必要がある。【企画防災係】			

＜継続的事业＞				
主な事業・取組	1. 町内設計事務所、工務店の技術力の向上に向けた取組を実施する			R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実	担当課	建設水道課
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度 実施内容	技術力向上は各事業所において取組を実施している。			
進捗状況と課題	企業や個人事業主において、人材（後継者、技術者）が不足しているため、技術の継承が難しい状態となっている。【建設水道課・水産商工観光課】			

主な事業・取組	2. 住宅リフォーム相談窓口のPRを図る			R4(2022)年度実績額	2,816千円
細事業名Ⅰ	商工振興事業(新築・リフォーム支援事業)	実	1-2-①-24	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	31件の申請に対し、2,816千円の補助金を交付した。				
進捗状況と課題	町内の住宅関連産業を中心とした地域循環型経済の活性化及び町内の消費の拡大が図られており、継続して取り組むべきである。【商工観光係】				

主な事業・取組	3. 公営住宅の修繕等を適切に行い、長期にわたり安全で快適な住まいを確保する			R4(2022)年度実績額	36,719千円
細事業名Ⅰ	既存公営住宅改善事業	実	4-2-②-21	担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ	公営住宅団地の統廃合	実	4-2-②-22	担当課	建設水道課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	公営住宅の屋根外壁等改修工事、解体工事を行った。				
進捗状況と課題	引き続き公営住宅の修繕及び団地の統廃合を進めていく。【建築公住係】				

主な事業・取組	4. 空き家対策総合支援事業を継続し、危険建物の解体を促進する			R4(2022)年度実績額	2,500千円
細事業名Ⅰ	空き家対策総合支援事業	実	4-2-②-23	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	危険な空き家の解体費用の一部を助成することによって、危険建物の解体を促進した。令和4年度は7件の申請があり、そのうち危険度の高い5件について1件50万円の補助金を交付した。				
進捗状況と課題	危険度の高い空き家の所有者に活用してもらえるよう引き続き制度の周知を行なう。【環境生活係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

			記載者
建住 商 企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・空き家バンクの取組を進めているが、空き家情報の充実にはつながっておらず、改善が必要な状況である。（企画課長） ・公営住宅の修繕及び解体工事については計画どおりに進んでいる。（建設水道課長） ・住宅リフォーム助成については令和3年度から新築にも適用し、想定通りの進み具合と思われる。（水産商工観光課長） ・令和4年度の空き家対策総合支援事業の申込みは7件あり、そのうち5件について補助金を活用して解体できた。（住民課長）
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）

			記載者
建住 商 企	A 有効であった	評価理由	・空き家バンクの取組は、空き家の有効活用や居住環境の満足度を高めることにつながっていない。（企画課長） ・団地の統廃合や修繕を行いながら、安全で快適な住環境を確保している。（建設水道課長） ・町内事業者による施工実績の確保につながっている。（水産商工観光課長） ・空き家の解体が促進されているが、既に危険度の高い空き家を解体してもらうよう空き家対策総合支援事業補助金の活用を促す。（住民課長）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

居住環境の整備	4・2・2	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		B	B			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		B	B			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	2	便利で快適な生活の確保
施 策	③	環境衛生の向上・資源リサイクル

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	出前講座等によるごみ減量 の啓発回数【単年】		目標値	回					2	2
				実績値	回	0	0				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	2	3	評 価		C	C				
成果 指標	1	1人1日当たりのごみの排 出量		目標値	g					1,010	1,010
				実績値	g	1,081	1,104				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	—	—	
	1,045	1,010	995	評 価		C	C				
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1											
成－1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞				
主な事業・取組	1. ゴミの分別に対する意識を向上させる			R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課 住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度 実施内容	広報や防災無線等でゴミの分別について呼びかけた。			
進捗状況と課題	ゴミの減量化や資源化に向けて、ゴミの分別の周知を継続する。【環境生活係】			

主な事業・取組	2. 町民主体によるエコ運動を展開する			R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課 企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度 実施内容	町広報4月号から「SDG's」、「ゼロカーボン」の連載記事を掲載し、環境問題やエコ運動について町民に周知を図った。			
進捗状況と課題	町広報紙の連載記事は令和5年5月号で終了したが、今後も関係課が連携を図り脱炭素の視点からも町民へのエコ意識の普及、情報の周知を行う。【企画防災係】			

主な事業・取組	3. 合葬墓についてのニーズ調査を行う	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 住民課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	※未実施		
進捗状況と課題	町内の合葬墓の必要性や、他の町の設置状況を勘案して検討する。【環境生活係】		

<継続的事业>			
主な事業・取組	1. 公衆トイレを適正に維持管理する	R4(2022)年度実績額	4,692千円
細事業名Ⅰ	公衆トイレ清掃管理委託業務	実	担当課 住民課
細事業名Ⅱ	5丁目トイレ警備委託業務	実	担当課 住民課
細事業名Ⅲ	公衆トイレ修繕	実	担当課 住民課
R4(2022)年度実施内容	各公衆トイレの清掃管理及び5丁目トイレの警備を委託した。また、故障等が発生するたび補修を行い、維持管理を図った。		
進捗状況と課題	老朽化した公衆トイレを延命化するため、適切な維持管理を行う。【環境生活係】		

主な事業・取組	2. ペットの管理指導を徹底する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 住民課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	広報や防災無線等でペットの飼い方について呼びかけを行った。		
進捗状況と課題	犬のフンの未始末や猫の放し飼い等の苦情が多数寄せられているので、引き続き防災無線で呼びかける。【環境生活係】		

主な事業・取組	3. 不法投棄の防止に関する啓発事業を実施する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 住民課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	警察等と不法投棄パトロールを実施した。不法投棄の目立つ場所に不法投棄啓発看板の設置、防災無線での周知を行なった。		
進捗状況と課題	不法投棄が減るよう引き続き啓発活動を続けていく。【環境生活係】		

主な事業・取組	4. 耐震性が無く、炉の老朽化が進む葬斎場の維持管理を適切に行い、利用者の安全を確保するとともに、計画期間中に改築について方向性を定める	R4(2022)年度実績額	721千円
細事業名Ⅰ	葬斎場火葬炉設備保守点検委託業務	実	担当課 住民課
細事業名Ⅱ	葬斎場照明取替工事	実	担当課 住民課
細事業名Ⅲ	葬斎場修繕	実	担当課 住民課
R4(2022)年度実施内容	葬斎場火葬炉設備の保守点検及び補修工事を行い、施設の維持管理を図った。		
進捗状況と課題	葬斎場の老朽化のため、建替えの費用、規模等について検討を続ける。【環境生活係】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
住企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・広尾町の1人1日当たりのごみの排出量は、十勝管内でも多く、ごみの減量化や資源化に向けた取組が必要な状況である。（住民課長） ・SDG'sやゼロカーボンなどリサイクルやエコの意識付けのため、関係課が連携して町広報紙へ連載記事を掲載したが、それ以外の取組に着手できていない。（企画課長補佐）		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
住企	A 有効であった	評価理由	・町民ひとりひとりにごみの発生抑制・減量化について理解してもらえるよう取組を行っていく。（住民課長） ・広報記事等により継続して周知を行うことは必要と考える。まずは役場各部署におけるSDG'sへの意識を高め、各種事業をSDG'sと関連づけるなどして町民全体への運動へと広げていく必要がある。（企画課長補佐）		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

環境衛生の向上・資源リサイクル	4・2・3	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		C	C			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		C	C			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	2	便利で快適な生活の確保
施 策	④	上下水道の整備

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1-1	今後更新が必要な浄水場 計装・機械設備(箇所数) 【累計】		目標値	箇所					43	43
				実績値	箇所	1	3				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	2.3	7.0	0.0	0.0	0.0
		—	43	92	評 価	d	d				
	1-2	今後更新が必要な浄水場 計装・機械設備(更新率) 【累計】		目標値	%					35	35
				実績値	%	1	2				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0
		—	35	75	評 価	d	d				
	2-1	今後更新が必要な水道管 路網(延長)【累計】		目標値	m					2,371	2,371
				実績値	m	436	825				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	18.4	34.8	0.0	0.0	0.0
		—	2,371	4,803	評 価	b	b				
	2-2	今後更新が必要な水道管 路網(更新率)【累計】		目標値	%					42	42
				実績値	%	8	14				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	19.0	33.3	0.0	0.0	0.0
		—	42	85	評 価	b	b				
	3	下水終末処理場の機器更 新率		目標値	%					50	50
				実績値	%	6	6				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	12.0	12.0	0.0	0.0	0.0
		—	50	90	評 価	d	d				
成果 指標	1	下水終末処理場修繕費【単 年】		目標値	万円					200	200
				実績値	万円	30	578				0
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—
		400	200	100	評 価	a	d				
特記事項	R3 (2021)			R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1－1	計装更新 1箇所			計装更新 2箇所							
活－1－2	計装更新 1箇所			計装更新 2箇所							
活－2－1	管路更新 4路線			管路更新 2路線							
活－2－2	管路更新 4路線			管路更新 2路線							
活－3	機器更新 8箇所			暖房設備 1箇所							
成－1	処理場機械修繕料			処理場機械・電気設備修繕							

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 配水管など耐用年数が経過する設備の更新工事を進める	R4(2022)年度実績額		35,123千円
細事業名Ⅰ	上水道(導水管・配水管)改良整備事業	実	4-2-④-31	担当課 建設水道課
細事業名Ⅱ	上水道浄水場計装機器更新整備事業	実	4-2-④-32	担当課 建設水道課
細事業名Ⅲ	簡易水道浄水場計装機器更新整備事業	実	4-2-④-34	担当課 建設水道課
R4(2022)年度実施内容	上水道配水管4路線の更新と簡易水道浄水場計装機器1箇所の更新を行った。			
進捗状況と課題	建物を含む施設の老朽化が進んでいるため、修繕工事に費用を要している。単年度の事業費は限られており、更新事業に遅れが生じてきている。【上下水道施設係】			

主な事業・取組	2. 下水道施設(処理場機器、污水管)の修繕や更新を進める	R4(2022)年度実績額		15,840千円
細事業名Ⅰ	下水終末処理場修繕・改築事業	実	4-2-④-39	担当課 建設水道課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	暖房設備の更新を1箇所行なった。			
進捗状況と課題	機器製作に時間がかかる機器があるため、遅れが生じている。【上下水道施設係】			

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 広尾の水道水のおいしさをまちの魅力の一つとして町内外にアピールする取組を行う	R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課 建設水道課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	※未実施			
進捗状況と課題	アピールするノウハウがないため、取り組むことができていない。【上下水道施設係】			

主な事業・取組	2. 合併処理浄化槽の普及促進を図り、市街地以外の水洗化率を高める	R4(2022)年度実績額		18,744千円
細事業名Ⅰ	個別排水処理施設整備事業	実	4-2-④-40	担当課 建設水道課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	合併浄化槽8基の設置を行った。			
進捗状況と課題	年度によって設置数にバラつきはあるが、概ね計画どおりに進んでいる。【上下水道施設係】			

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	建設水道課長補佐 川崎
	A 想定以上に進んでいる	評価理由			
	B 想定どおりに進んでいる				
○	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	建設水道課長補佐 川崎
	A 有効であった	評価理由			
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

上下水道の整備	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)	成果目標のうち3項目が「d」評価となっていることを踏まえ、「C」評価が妥当と判断した。	
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	2	安心・安全な環境の確立
施 策	⑤	情報通信技術等の活用

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	公共施設における公衆無線LANの設置箇所数【累計】			目標値	箇所					8	8
					実績値	箇所	4	6				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	2		8	10	評 価		b	b				
成果 指標	1	高速通信網の整備率			目標値	%					100	100
					実績値	%	100	100				0
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	85.4		100	100	評 価		a	a				
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活－1		役場庁舎・コミセン、農村環境改善センター		老人福祉センター、農林人材育成支援センター								
成－1		令和4年3月末整備完了										

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>				
主な事業・取組	1. 産業などあらゆる分野でICTやAIなど最新技術の導入を検討する			R4(2022)年度実績額 17,500千円
細事業名Ⅰ	広尾漁協ICT・クラウド化導入事業	実		担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課 農林課
細事業名Ⅲ		実		担当課 企画課
R4(2022)年度 実施内容	(Ⅰ)北海道地域づくり総合交付金を活用して、ICT機器の導入、クラウドによるバックアップなどの情報管理対策を内容とする総合的な漁獲情報管理システムの構築を広尾漁業協同組合において行った。			
進捗状況と課題	(Ⅰ)ICT化により、広尾漁業協同組合において漁獲データに基づいた操業指導、漁獲調整措置が可能になり、持続的な水産資源の維持・活用が図られた。また、クラウドにより、津波等の災害発生時にもデータ保守対策が可能となった。【水産係】 (Ⅱ)令和3年度末に農村地域全体に光回線は整備済。畜産ICTのコストは高額であることと、導入に際しては営農者の判断となることから、今後の補助制度や普及状況を注視しながらJAと連携して対応する。【農政林務係】 (Ⅲ)国の「デジタル田園都市国家構想」に基づき、デジタルの力を活用した地方創生の取組を推進するため、新たな総合戦略を令和5年度に策定する。【企画防災係】			

主な事業・取組	2. 主要な公共施設や観光施設に公衆無線LANの設置を検討する			R4(2022)年度実績額	476千円
細事業名Ⅰ	公衆無線LAN設置事業	実	4-2-⑤-41	担当課	各施設所有課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	老人福祉センター、農林人材育成支援センターに公衆無線LANを整備することで、コロナ禍におけるオンラインの活用環境を整えるなど利用者の利便性が向上した。				
進捗状況と課題	今後も利用者数や活用状況などを考慮し、公共施設等への設置に向けた検討を進めていく。令和5年度は旧野塚小学校(集いの杜)に整備予定。				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 行政事務の効率化による住民サービス向上に向け、情報通信技術を活用する			R4(2022)年度実績額	13,530千円
細事業名Ⅰ	行政手続のオンライン化	実		担当課	総務課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)国の「マイナポータル」と本町の基幹業務システムを接続するためのシステム改修を実施した。これにより、各種行政手続をオンライン上で実施するための環境が整備された。				
進捗状況と課題	令和5年度以降、国の自治体DX推進計画等に基づき、自治体基幹業務システムの標準化及びガバメントクラウドへの移行を予定しており、システム改修後を見越した職員や町民の意識改革が必要である。【総務課総務係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
水農企総	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・漁獲情報の即時データ共有や、災害でのデータ喪失リスクなどの課題に対応したシステムの導入した。（水産商工観光課長） ・農林人材育成支援センターに公衆無線LANを設置し、第一次産業研修生の利便性向上を図った。（農林課長） ・高速通信網の町内全域での整備が完了し、あらゆる分野での活用が可能な環境が整っている。（企画課長） ・公共施設における公衆無線LANの設置が順調に進んでいる。（総務課長）		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
農企総水	A 有効であった	評価理由	・漁業者単位の漁獲情報がデータで活用されることで迅速な操業指導・漁獲調整措置が可能になり、資源管理に繋がる。また、クラウド化による、災害発生時のデータ保守対策が図られた。（水産商工観光課長） ・公共施設にWi-Fiを整備し、一般向けに開放することで利用者の利便性の向上が図られた。（農林課長） ・公共施設における無線LANの設置箇所数が増加し、公共施設利用者の通信利便性向上につながっている。（企画課長） ・公衆無線LANの設置により、住民利用や会議・イベント利用のほか、災害時における情報伝達手段としての利用も見込まれ、有効である。また、ITインフラの整備により、住民サービス向上施策や観光振興施策の幅が広がるとともに、業務改善が図られる。（総務課長）		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

技術 等 の 活 用	4 ・ 2 ・ 4	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		B	B			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		B	B			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	3	環境保護の取組
施 策	①	地球環境・エネルギー対策の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	公用車への電気自動車の 導入台数【累計】	目標値	台					1	1
			実績値	台	0	1				0
			現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	0	1	2	評 価	c	a				
	2	畜産系バイオマス関連施設 整備基数(再掲)【累計】	目標値	組織					1	1
			実績値	組織	0	0				0
			現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0	1	2	評 価	d	d				
成果 指標	1	役場庁舎の年間電力使用 量【単年】	目標値	kwh					180,000	180,000
			実績値	kwh	238,992	233,034				0
			現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	75.3	77.2			
	261,604	180,000	150,000	評 価	b	b				
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活-1	導入に向けて検討		電気自動車を1台配置							
活-2										
成-1	LED化着手済		照明LED化整備済							

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>				
主な事業・取組	1. 産業分野における再生可能エネルギーを有効活用する			R4(2022)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課 農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度 実施内容	※未実施			
進捗状況と課題	平成30年度から令和元年度にかけて農協を中心にバイオマス施設の整備を検討してきたが、事業化には至っていない。【農政林務係】			

主な事業・取組	2. 公共施設などに非常用電源を確保する			R4(2022)年度実績額	11,825千円
細事業名Ⅰ	可搬型発電機等維持管理事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ	電気自動車、充給電設備導入事業	実	4-3-①-43	担当課	総務課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)役場庁舎や一部の避難所に備蓄している可搬型発電機の点検・修繕や燃料の入替を実施した。 (Ⅱ)災害時に非常用電源として活用できる電気自動車を購入し、第一次避難所であるコミュニティセンターに給電できるよう充給電設備の設置工事を実施した。また、電気自動車の電力を取り出し、他の避難所等施設に持ち運べる給電器を購入した。				
進捗状況と課題	現状は主に可搬型の発電機により電源を確保しているが、災害対策本部としての機能を十分に果たすためには発電量が不足しており、燃料の備蓄にも課題がある。【企画防災係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 省エネルギー意識の向上と重要性について、町民へ周知を図る			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課ほか
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	町広報紙の令和4年5月号から令和5年5月号まで関係課輪番による脱炭素関連の連載記事を掲載し、町民へ脱炭素化の情報周知を行った。				
進捗状況と課題	町広報紙の連載記事は終了したが、今後も関係課が連携を図り省エネルギー化も含めた町民へ脱炭素化の情報周知を行う。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 公共施設において、クールビズやウォームビズ、省エネルギー機器の導入など各種節電対策に取り組む			R4(2022)年度実績額	34,238千円
細事業名Ⅰ	クールビズの実施	実		担当課	総務課
細事業名Ⅱ	公共施設LED化事業	実	4-3-①-42	担当課	総務課
細事業名Ⅲ	共用車更新事業	実	4-3-①-43	担当課	総務課
細事業名Ⅳ	PCB廃棄物処分事業	実	4-3-①-44	担当課	総務課
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)クールビズを5月6日から10月1日までの期間で実施した。 (Ⅱ)公共施設LED化事業 完了済(工期:R4.2.1~R5.3.31) (Ⅲ)ゼロカーボン推進のため、電気自動車を一台配置(4,803千円) その他共用車更新事業(2号車2,061千円と3号車2,174千円の更新を実施で備荒資金を活用) (Ⅳ)実施事業なし				
進捗状況と課題	(Ⅰ)、(Ⅱ)令和4年3月に改訂したエコオフィスプランに基づき、庁舎をはじめとした公共施設の節電対策に取り組む【総務係】 (Ⅲ)共用車の更新については、令和7年度までに順次行っていく。【管財契約係】 (Ⅳ)未処分の低濃度PCBは令和8年度までに処分する。【管財契約係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・畜産系バイオマス関連施設の整備は、国の補助制度や再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度(FIT)を活用できるか否かなど様々な要因でイニシャルコストをはじめ、運転時の収支の試算が極めて困難であり、新規導入の判断が遅れている。（農林課長） ・エコオフィスプランによる役場内における省エネルギーの取組は進んでいるが、再生可能エネルギーの導入や地方公共団体実行計画の策定検討などゼロカーボン推進に向けた取組は進んでいない。（企画課長補佐） ・公共施設LED化工事が令和4年度に完了した。また、庁舎の節電への協力要請を随時実施し、職員の節電意識の向上を図った。共用車の更新については順調に実施している。（総務課長）		
総	B 想定どおりに進んでいる				
企農	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
	A 有効であった	評価理由	・家畜ふん尿などを再生可能エネルギーとして活用する取組は、環境・エネルギー問題に貢献するため有効ではあるが、具体的な検討に踏み出すことができなかった。（農林課長） ・省エネルギーの取組は継続して行う必要がある。再生可能エネルギーの活用に向けた取組は産業分野や事業所と連携・協力し、全庁的な取組としなければ効果が現れず、現時点でその段階まで至っていない。（企画課長補佐） ・公共施設LED化事業の成果については、令和5年度以降に反映。庁舎の節電については、職員の意識改革が必要であるため、継続して周知を行っていく。（総務課長）		
総	B 概ね有効であった				
企農	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

地球環境・エネルギー 政策の推進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	3	環境保護の取組
施 策	②	公園・緑地など土地の適正利用

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	防災公園の整備箇所数【累計】		目標値	箇所					1	1
				実績値	箇所	0	0				0
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	—	1	1	評 価		b	b				
成果 指標	1	(ア)公園緑地等の整備に対する満足度		目標値	%					50	50
				実績値	%	—	—	—	—		0
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	0.0	0.0
	23.6	50	70	評 価							
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)			R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活-1	みらい会議2回開催		基本計画の策定、基本設計の実施								
成-1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞						
主な事業・取組	1. 防災公園を整備する			R4(2022)年度実績額		6,820千円
細事業名Ⅰ	ひろお防災公園(仮称)整備事業	実	4-3-②-45	担当課	企画課・建設水道課	
細事業名Ⅱ	ひろお防災公園(仮称)管理運営事業(R8～)	実	4-3-②-46	担当課	企画課・建設水道課	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	新たな防災公園整備の基礎となる基本計画(整備構想)の策定、基本設計を行った。整備構想の策定にあたっては、保育園児・小学生の保護者や保育士・教員、中高生、一般町民と意見交換を行い、内容に反映させた。					
進捗状況と課題	町民の意見を反映させて策定した整備構想に基づき、「みんなの笑顔があふれる遊び場」をめざし、引き続き町民参加による公園づくりを進める。令和5年度に実施設計、6～7年度に整備工事を予定。【企画防災係・土木係】					

<継続的事业>				
主な事業・取組	1. 都市公園施設の補修、整備を計画的に進める			R4(2022)年度実績額 1,430千円
細事業名Ⅰ	都市公園改修事業	実	担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	・都市公園の適切な管理を行う事により、公園利用者の安全を確保した。 ・新丸山公園改修工事(木製遊具塗装工事、トイレ蛍光灯取替工事)			
進捗状況と課題	通常パトロールや専門的知識を有する遊具メーカーの協力で遊具点検を実施し、利用者の安全を確保している。【土木係】			

主な事業・取組	2. 土地利用計画・都市計画の見直しを行う			R4(2022)年度実績額 5,280千円
細事業名Ⅰ	都市計画マスタープラン策定事業	実	担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	平成14年度に策定した現行の「広尾町都市計画マスタープラン」の更新を図った。上位計画やまちづくりに関する実績や現在の町を取り巻く環境を分析し、問題や課題を整理して、持続的でいつまでも住み続けられる都市計画を策定するもの。			
進捗状況と課題	次回は令和24(2042)年度に更新する予定だが、上位計画等が変更になった場合は随時見直しを行う。【土木係】			

主な事業・取組	3. ちびっ子広場等既存の公園・緑地について、各地域の子どもの居住実態や公園の利用実態を踏まえた整備と適切な維持管理により、使用環境の向上を図る			R4(2022)年度実績額 20,461千円
細事業名Ⅰ	公園・緑地草刈清掃業務	実	4-3-②-47	担当課 住民課
細事業名Ⅱ	公園遊具保守点検委託業務	実		担当課 住民課
細事業名Ⅲ	公園遊具補修工事等	実		担当課 住民課
R4(2022)年度実施内容	町内の公園・緑地について、清掃、草刈を行い環境美化が図られた。また、公園の遊具を安全に使用してもらうため、遊具の点検及び補修を行った。			
進捗状況と課題	公園の遊具が老朽化のため、計画的に更新を行うことが課題である。【環境生活係】			

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者
企 住 建	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・町民各層の意見を聞きながら丁寧に公園整備構想の策定を進めるなど、町民満足度の高い公園づくりに向けて進めている。（企画課長） ・課題などの現状を把握し、マスタープランの変更を行うなど、効率よく都市計画事業を実施することができた。（建設水道課長補佐） ・公園遊具の保守点検結果を踏まえて、計画的に整備することができた。（住民課長）	
	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者
企 住 建	A 有効であった	評価理由	- 公園の利便性向上に向けて多くの町民の意見を聞き、後年次の公園整備に反映させることで、町民満足度の高い公園づくりを進めることができる。（企画課長） ・既設公園の老朽化等の課題を役場内部で共有することで、効率の良い公園管理等をすすめることができる。（建設水道課長補佐） ・今後も公園・緑地の環境美化を図り、安全に公園を利用してもらえるよう地域の実態を踏まえて計画的に整備を進めていく。（住民課長）	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

土 公 地 園 の ・ ・ 適 緑 正 地 利 な 用 ど	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)	防災公園整備構想も順調に進んでおり、他の公園管理や都市計画マスタープランの見直しなども想定どおり進んでいることから「B」評価が妥当と判断した。	
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	4	住みやすさが感じられるまちづくり
政 策	3	環境保護の取組
施 策	③	自然環境の保全と特色ある景観づくり

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況		
活動 指標	1	自然を学ぶ環境学習の開 催回数【単年】		目標値	回					2	2		
				実績値	回	0	0			0			
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	0	2	3	評 価		C	C						
成果 指標	1	(ア)まちなみや景観などの 満足度		目標値	%					40	40		
				実績値	%	—	—	—	—		0		
	現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	0.0	0.0			
	20.2	40	60	評 価									
	2	(ア)住民が参加してみたい、大切だと思う活動のうち、「自然保護、愛護活動」と答えた人の割合		目標値	%					20	20		
				実績値	%	—	—	—	—		0		
				現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	0.0	0.0
				16.4	20	25	評 価						
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)			
活－1		新型コロナ拡大により中止											
成－1													
成－2													

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞							
主な事業・取組		1. 町民総ぐるみの環境美化活動を展開する			R4(2022)年度実績額		348千円
細事業名Ⅰ	町内会連合会育成事業	実	5-1-①-2	担当課	企画課		
細事業名Ⅱ		実		担当課			
細事業名Ⅲ		実		担当課			
R4(2022)年度 実施内容		町内会連合会主催の環境美化活動として、「ルート336花壇づくり事業」(植栽・草取り、撤去の3回)を実施し、延べ448人が参加した。「ふるさとクリーン作戦」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。					
進捗状況と課題		「ルート336花壇づくり事業」は18回を数え、町民による環境美化意識の向上が図られている。しかしながら、ボランティア・サポート・プログラムを活用して国道沿いの植樹柵等整備を行う団体・事業所等は減少している。一例として、本通商店街フラワーロード事業は実施町内会が平成27年度の10町内会から、現在4町内会まで減少した。また、過去に国道沿線の植樹柵植栽をしていた町内会から、管理が困難となったため柵閉塞の要望が出ている。町としても管理できなくなった植樹柵は閉塞すべきとの考えているため、広尾道路事務所と協議し実施している。 コンテスト等実施する場合は、記載した現状や、過去に実施していたガーデニングコンテストが中止となった経緯を踏まえて、慎重に検討する必要がある。【ふれあいの係】					

主な事業・取組	2. 自然を学ぶ環境学習を行う			R4(2022)年度実績額	300千円
細事業名Ⅰ	シーサイドパークの自然調査委託事業	実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	<調査内容> ①春・夏・秋の季節ごとの草花植物相の変遷と群生する樹木の把握と取りまとめ ②オオバナノエンレイソウ群生と林環境を作り出す昆虫の種類と役割の解明③同地区内におけるギャップ(日陰・日当たり環境)の及ぼす影響について				
進捗状況と課題	オオバナノエンレイソウが群生するシーサイドパーク地区における林環境を構成している草花・樹木の植物相及び昆虫の種類などを収集しまとめることにより、同地区内の森林環境の現況を把握し、同地区内における永続的な環境保全手法を策定するための基礎資料としている。来年度以降、現在の調査・研究機関への委託ができなくなるため、その方法について検討する。【社会教育係】				

主な事業・取組	3. 広尾ならではの景観の魅力を広める			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	大丸山森林公園サンタの家においてシーニックバイウェイを活用した情報発信を行った。				
進捗状況と課題	十勝シーニックバイウェイ南十勝夢街道による情報発信のほか、観光やまちおこしの観点から広尾町の海、山、川といった自然風景などをSNSなど各種媒体を活用し、積極的に情報発信していく。【商工観光係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 空き地や空き家の所有者に対し、適正管理を呼びかける			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	近隣の方から空き地や空き家の管理に関する苦情があった際に、所有者へ文書等で適正な管理を促す。また、定期的に町内の空き地、空き家の見回りを実施した。				
進捗状況と課題	空き地、空き家の所有者が相続の関係で町外の方が増えているため、管理が難しくなっている。シルバーセンターを利用するなど適正な管理を促す。【環境生活係】				

主な事業・取組	2. 町道沿いの街路樹を適正に管理し、道路景観の向上に努める			R4(2022)年度実績額	5,141千円
細事業名Ⅰ	道路環境整備事業	実		担当課	建設水道課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	・町道草刈(町道14路線の除草)・街路樹管理(町道3路線の街路樹選定)を実施した。				
進捗状況と課題	街路樹や植樹樹が古くなり、管理方法が難しくなっている。交通安全や景観に配慮しながら道路交通や町民生活に支障とならないように良好な状態の管理をする。【土木係】				

主な事業・取組	3. 町民や町民で組織する団体による自然保護活動を促進する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R3(2021)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	広尾町の自然はかけがえのない財産であることを町民に認識、または再発見してもらい、その自然を守るためにまずは身近でできることから取り組む機運を高めていく必要がある。【企画防災係】				

主な事業・取組	4. 空き家対策総合支援事業を継続し、危険建物の解体を促進する			R4(2022)年度実績額	2,500千円
細事業名Ⅰ	空き家対策総合支援事業	実	4-2-②-23	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	危険な空き家の解体費用の一部を助成することによって、危険建物の解体を促進した。令和4年度は7件の申請があり、そのうち危険度の高い5件について1件50万円の補助金を交付した。				
進捗状況と課題	危険度の高い空き家の所有者に活用してもらえるよう引き続き制度の周知を行なう。【環境生活係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・所有者が町外の方や相続の関係などで放置されている空き家・空き地の問題が増えている。適正に管理してもらうよう引き続き所有者に呼びかける。（住民課長） ・オオバナノエンレイソウが群生するシーサイドパーク地区における委託業務報告書を参考に該当地区の環境保全を行っている。また、オオバナノエンレイソウ専用のリーフレットを作成しており、一般向けや、学校への普及啓発に努めている。（社会教育課長） ・パトロール等により現地を確認し、適切に管理している。（建設水道課長補佐） ・景観の観光利用について、シーニックバイウェイ以外に取組が広がっていない。（水産商工観光課長） ・町内会連合会で実施している事業以外に自然保護、環境美化に関する大きな取組はなく、町民の景観に関する意識が高まっていない。（企画課長）	
住社建	B 想定どおりに進んでいる			
商企	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	
	A 有効であった	評価理由	・空き家・空き地の問題が深刻化する前に適正な管理をしてもらうよう周知を継続する。（住民課長） ・オオバナノエンレイソウが群生するシーサイドパーク地区には毎年開花時期に町内外から散策者が訪れており、広尾町の特徴ある自然としての認識も定着していると思われる。（社会教育課長） ・交通の安全や快適な住民生活が確保できるよう適切な管理を行う。（建設水道課長補佐） ・魅力的な景観を観光面で活用するため、さらなる情報発信に努めていく。（水産商工観光課長） ・広尾町の恵まれた自然環境を守っていくため、まずは身近で取り組みやすいメニューの企画、実施から始める必要がある。（企画課長）	
住社建	B 概ね有効であった			
商企	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

特色ある景観づくり 4・3・3 自然環境の保全と	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		